第３回　網野まちなか再生・活性化協議会

事務局からの説明

前回の振り返り ／ キーコンセプトの決定 ／ 整備機能の検討

資料１



AGENDA

本日の流れ

前回の振り返り

キーコンセプト候補・利用シーンを
振り返ります

キーコンセプトの決定

**事前アンケートの結果をもとに、
それぞれの想いを確認します**

利用シーンの検討
整備が必要なハードの検討

グループごとに各機能を題材に、
じっくり深掘りします

RECAP ／ 前回の振り返り①

キーコンセプトの方向性 （各グループ）

A

カタチのない居場所

集まる、つながる、めぐる、広がる、未来につなぐ無限∞大　チャレンジ

●カタチのない＝どんなカタチにもなる
●使い方次第でどんなカタチにもなれる
●稼げる、チャレンジできる、チャンスがある

7件

B

気軽に集まれて、情報が集まる、まちが「見える」、安らげる場所

井丈さん（井丈商店）の井戸端会議みたいに気軽に人が集まり、話が弾み、町が見える（町のことが分かる）。そこで集まった情報を外向けに発信し、町に来てもらう。さらに移住してもらえれば人口が増える。

●人が集まり、
地域が賑わう場所

4件

C

人が集まれる場所で稼げる場所

雨でも晴でも人が集まれる場所がいいけど、地元の人だけでなく、よそからも人が来てビジネスでお金を落としてもらうことも大事。ビジネスチャンス、チャレンジできる場所

●コミュニティと
ビジネスの生まれる場所

11件

D

ぷらっと　縁むすび

誰もが気楽に、今日用事がなくても今日行く場所がなくても、気軽に好きな時に立ち寄れる。人に会える。人と会うことで何か発見がある。人が恋しい。

5件

※ 第２回協議会後の皆さんへのアンケート結果も反映しています。（最大１人２つまで投票可、言い回し等のアイデアはふせんで記載）　※16人回答。

RECAP ／ 前回の振り返り①

キーコンセプトの方向性 （各グループ）

＜その他＞

- 元気なアミノ産
- 若い方と話す機会が少ない中で若い人の意見はユニークで楽しい思いです。
- 雨でも炎天下でも利用できるよう開閉式のサンシェード等のある多目的広場であれば
  誰もが集まりやすいしイベントも開催できる。
- 人が集まるより人を集める、人と人が繋がるではなく繋げるなど自然に集まる、繋がるではなくて誰かが、何かが集まったり繋げたりする方が継続していきそうな気がしました！
- Dグループの補足：

  【子育て支援の観点】子連れのお母さんがふらっと寄って交流を図れる。親同士の意見交換や子どもたち同士の繋がりの場に。 いろんな世代が立ち寄れる場所にすることで多世代での子育てができる。地域で子どもを育てる形をつくっていく。

  【 福祉の観点】一人暮らしの高齢者を孤独にさせない。地区ごとにサロンが開催されるが、参加しない方もいる。時間関係なく立ち寄ってもらうことで、自然とその場でサロンが開かれるようにする。

  【次世代育成の観点】休日等に若い人が集まることで、自然と出会いの場が生まれる。 キッチンスタジオがあれば、男女で料理交流など小さい規模感で出会いが生まれる。 以上3点簡単にまとめましたが、ぷらっとがキーなので、構えることなく誰もが利用できる場がいいです。

利用シーン

どんな利用シーンを描くのか

全部で５９件の意見が集まりました。

事務局で整理・分類したものを振り返っていきます。

RECAP ／ 前回の振り返り②

利用シーン

皆さんが思い描いた「過ごし方」や「体験」を整理しました。
分類は、本日の議論で「どれを実現していきたいか」「これを実現するためには、どんな機能等が必要になるか」を考える土台にするために、利用シーン別で整理したものです。

<利用シーン>

①ふらっと立ち寄って、自分らしく過ごす
②食べる・飲むことをきっかけに人とつながる
③親子・子どもで過ごす
④学生・若者・多世代が集まり、交流する
⑤体を動かす・外で過ごす
⑥本・音楽・スポーツ観戦・文化を楽しむ
⑦「やってみたい」を試す・売る・挑戦する
⑧網野の人・情報・まちとつながる

※利用シーンの形ではなく、機能や運営に関する具体アイデアは別枠で整理しています。

RECAP ／ 前回の振り返り②

利用シーン

①ふらっと立ち寄って、自分らしく過ごす　（6件）

実現したい体験：特別な用事がなくても、自分のペースで過ごせる時間・空間。

- 貴重な1人時間30分を、子育て中のお母さんが美味しいお菓子と美味しいコーヒーをもって、ゆっくり読書したい
- 休日の朝にリラックス
- 働いている人は平日、お弁当を食べたり
- 休日のヒマな時間に独り身の方が時間を楽しめる（人好しくて）
- ベンチに座って読書をする若い女性
- 木陰があって、本を読んだりおしゃべりしたり

②食べる・飲むことをきっかけに人とつながる　（3件）

実現したい体験：飲食そのものが目的というより、そこから会話や交流が生まれること。

- お店の人に、自分が仲間と、仕事の合間、コーヒーお茶をのみに
- 集まった人が（幅広い世代）、飲食スペース食が楽しめる、ウォーキングなど健康づくり
- 何気に立ち寄ってコーヒーを飲んで仕事の話がつながる

RECAP ／ 前回の振り返り②

利用シーン

③親子・子どもで過ごす　（9件）

実現したい体験：子どもが遊び、親が見守りながら自分の時間も持てる、安心して過ごせる過ごし方。

- 仕事前の土曜日、息子の空手の練習を眺めながら、コーヒーを飲む
- 運動不足解消のため、子どもたちとお散歩の目的地になるようなお店があるといいな
- 休日に家族でたくさんの体験をして思い出を増やす
- 子育て世代が集まる　子育てについて談話する
- 子育てできる場所
- 親が仕事中の小学生が日中に集まって遊ぶ
- 子育てママが遊ばせながら悩みを共有できる
- 共働きでパパ・ママ不在の小・中学生がワークできる
- 子供達が芝生でボール遊び、それを見守るママ　外に出てちょっとひと息つきたいな

RECAP ／ 前回の振り返り②

利用シーン

④学生・若者・多世代が集まり、交流する　（9件）

実現したい体験：学生の居場所、若者同士の出会い、世代を超えた交流の機会。

- 一息つきたい、高校生が、学校部活の帰り道、話をしたりお茶を飲んだり
- わいわいしながら友達と放課後にしゃべる
- 学校帰りに自習して頑張れる場所
- 年に関係なくワイワイ話している
- 婚活の若者が休日に相手探し、次世代へ網野をつなげたい、若い男女ナイトバー企画する
- 未婚男性女性がキッチンワークでつながる
- 未婚の男女がおせっかいなおばさんと出会い縁がつながる
- 高校生が社会人と将来の話ができる
- 網野高校生が学校帰りに立ち寄り小・中学生と交流

RECAP ／ 前回の振り返り②

利用シーン

⑤体を動かす・外で過ごす　（6件）

実現したい体験：天候や年代を問わず体を動かせる、健康づくりができる過ごし方。

- リフレッシュしたり遊びたい、京丹後に住んでいる人が、日中、運動したり話したり自由に過ごせる
- 仕事が終わった後に、ジョギングやウォーキングを行い、健康につなげる
- 健康の為、運動不足の中年が　平日の夕方～夜、休日の日中、運動できる
- 誰でも体操が出来る　/　○年代はウォーキング・日向ぼっこ等
- どんな天候でも使える　学生・若い人はスポーツ等

⑥本・音楽・スポーツ観戦・文化を楽しむ　（6件）

実現したい体験：日常に彩りや非日常感をもたらす、文化的な過ごし方。

- 路上ライブしてる高校生がいるといいな
- まちかど図書館、オススメの本をもって、本好きの人たちが本を持ち寄る、読んだり、貸りたり
- いろんなイベント（販売・音楽・ダンス・本）
- 夜にスポーツ観戦・映画がみたい　/　パブリックビューイング（サッカー等）スポーツを通して想い・気持ちが一つに。
- ビジネス趣味・情報（歴史・文化）など懇談会・音楽等イベント

RECAP ／ 前回の振り返り②

利用シーン

⑦「やってみたい」を試す・売る・挑戦する　（8件）

実現したい体験：小さな挑戦やビジネスの芽を、実際に試せる機会。

- 土曜日の夜　夜店。昔は商店の店前のきわで夜店を出している
- 集える場所＝＆かせげる場所
- 地域の人が手作りのお菓子を売るイベント
- 商品開発とかねた新しい商品の試し販売　/　人がいる所に売りに行きたい
- 定期的にイベント　魚、アイスクリームを売れる場所、人が集まるところに行きたい
- 土日を中心に、定期的にイベントのできる場所　イベント企画コーディネートできる人がいて
- チャレンジキッチン

⑧　網野の人・情報・まちとつながる　（5件）

実現したい体験：この場所を起点に、地域の人や情報、まち全体とゆるやかにつながること。

- 町をキレイにする、地域住民が、日中、資源ごみを持ってくる
- 寂しさを埋めるため、（一人暮らしの）年配の方がいつでも井戸端会話
- 自分の考えがまとまらない時、雑談の中からヒントを得る
- そこに行けば誰かに出会い情報が得られる
- おじいちゃんおばあちゃんがいて昔の話が聞ける

RECAP ／ 前回の振り返り②

「利用シーン」ではないけれど、大事な意見もありました

運営体制

「運営するキーパーソンが必要！！」

事業性・段階整備

「最初からは儲からない」

情報発信機能

「来た人が情報を提供する『情報板』」

周辺回遊の設備

「丹後に来た人が気軽に使える、レンタサイクル・キックボード置場」

夜間の空間演出

「イルミネーションされている（夜に）」

運営主体の柔軟性

「自治体・民間問わず使えるフリースペース」

RECAP ／ 前回の振り返り③

第1・2回を通じて、見えてきたこと

網野住民の日常の居場所

＜当然の前提として意識するもの＞



安心安全・インクルーシブ・包摂



継続できるもの



賑わう場所

＜大切にしたい視点＞

① 気軽さ・ふらっと立ち寄れる。特に“若者”が立ち寄りやすい場（おしゃれで居心地の良い空間デザインなど）

② 居場所だけでなく、稼げる・チャレンジできる場所を目指す。（小さくても何かを始められ、経済が循環している姿）

③ 活用する人やニーズに応じて変わっていく整備（チャレンジを許容する育てていく余白のある整備・運営ルール）

④ 情報が集まり、発信できる仕組み。

この認識は同じでしょうか？



ここまでが振り返りです

ここから、本日の内容に入っていきます。

GOAL ／ 本日のゴール

キーコンセプトを決定し、整備機能の検討を深める

① 皆さんのアンケートの結果をもとにした、キーコンセプト案を全体で確認・意見交換し、決定する。
② 各グループごとの題材を踏まえ、生まれてほしい利用シーンから、必要なもの・工夫・関わる人・育て方などを考える

本日すること

40分

①キーコンセプトの決定（全体）

40分

②利用シーン・機能の検討

20分

③各グループ発表

WORKSHOP ①　キーコンセプトの決定

どの言葉が、整備の軸としてふさわしいか

約40分間

① 事務局から案の共有

キーコンセプトにしたためた皆さんの想いを共有します。

② 意見交換

どれが一番ふさわしいか投票をいただきます。
その後、質疑・意見交換をした後に１つのキーコンセプトにしていきましょう！

その場の発言は、
事務局がリアルタイムでシートに整理します

本日確定したキーコンセプトは、この後の整備機能等の検討でも、立ち返る軸として活用します。

候補 1

縁を結び、無限大∞の可能性（チャンス）を生み出す場

案①
今はまだカタチのないこの場所を、人が集まり商いがなりたつ、新しい網野に出会う、何度も立ち寄りたくなる、そんな居場所に育てていく～

案②
まだ決まった「カタチ」のないこの場所に、人が集まり、出会い、つながることで、新しい可能性を生み出していきたい。
「こんなことをやってみたい」という想いを小さな挑戦や商い、活動につなげ、そこからまた新しい人や出会いを生み出していく。
そうして生まれた縁が網野のまちへ広がり、次の可能性につながっていく。
人の想いと縁を結びながら、使う人と一緒にカタチをつくり、無限大の可能性へ育てていこう！

候補 2

人と人、人と網野をつなげる、可能性∞の“交差点“

人が集まり、情報が集まり、網野のことが見えてくる。
ふらっと訪れた人が人と出会い、知らなかったお店や地域の魅力を知る。そこからまちへ出かけたり、「自分も何かやってみたい」と新しい挑戦を始めたりする。
挑戦する人と、それを応援する人・買う人が出会うことで、新しい商いや活動も生まれていく。
人と人、人と網野がつながり、そこから無限大の可能性が交わり、広がっていく「網野の交差点」を目指そう！

候補 3

ふらっと集い、つながりが生まれる場所

用事がなくても、行く場所がなくても、ふらっと立ち寄れる。
子どもを遊ばせたり、誰かと話したり、一人で過ごしたり。そんな何気ない時間の中で人と出会い、思いがけない発見やつながりが生まれる。
そして、誰かとの出会いをきっかけに、「自分もやってみたい」と思えることが生まれ、挑戦や商い、地域の活動へとつながっていく。
ふらっと集まれる。そんな日常の居場所から、新しい網野のつながりや活動が生まれる場所を目指そう！

候補 4

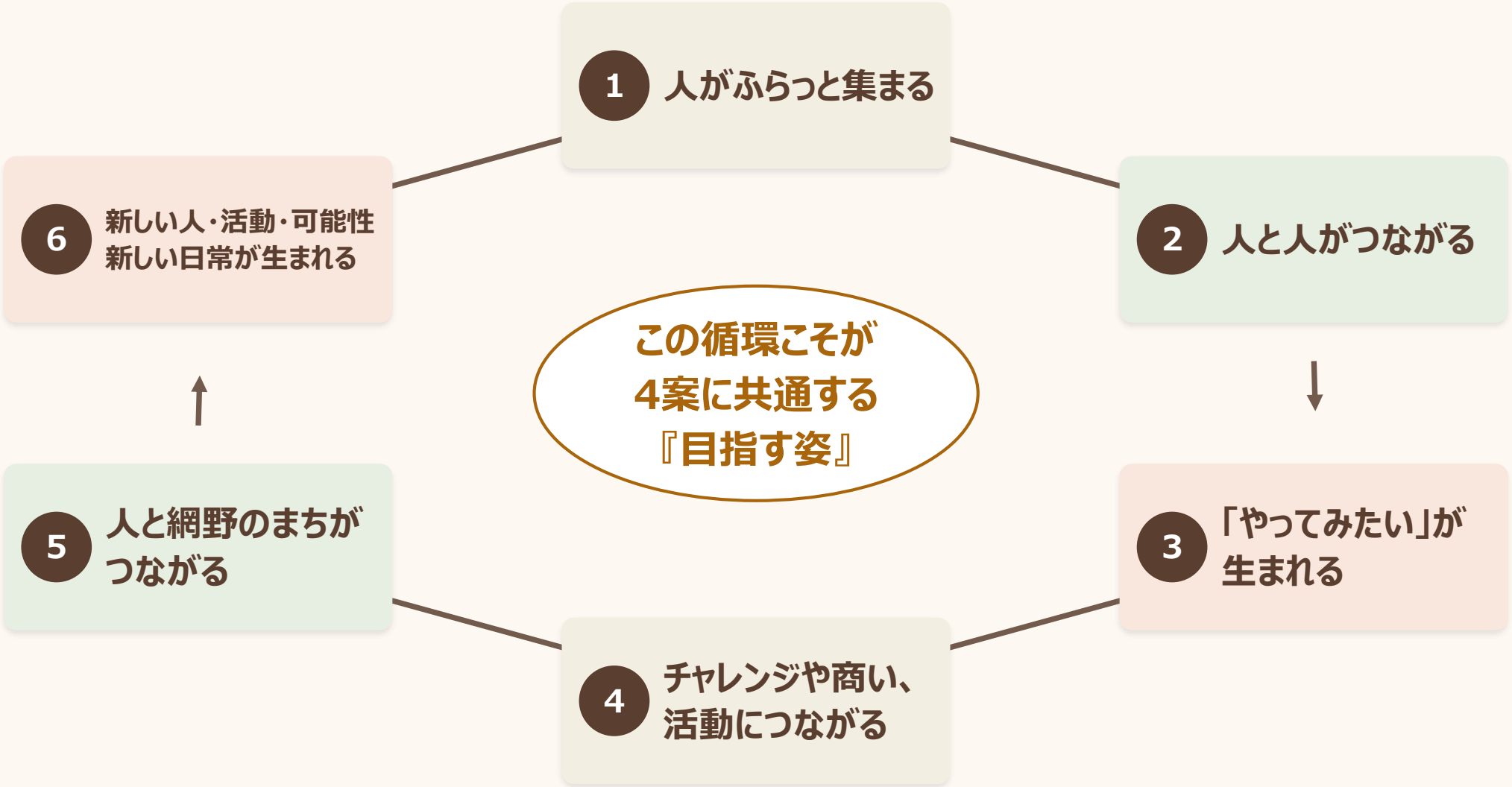
“立ち寄り・出会い・未来を描く”
新しい網野の日常が始まる場所

私たちは、この網野でどう過ごし、誰と出会い、どんな未来を描こうとしているのか。

網野で暮らす。
この場所に立ち寄る。　←ふらっと、集う
この場所で出会う。　←つながる
この場所から一緒に未来を描く。　←無限大、可能性、チャレンジ

立ち寄り、出会い、イベント、商いが始まる。
そして、非日常がいつかは日常となる。それは新しい網野の日常。
新しい網野の日常が始まる場所に、みんなで育てよう！

実は1つの循環になっています



WORKSHEET ①

キーコンセプトの決定シート

候補 1

縁を結び、無限大∞の可能性を生み出す場

投票：

選んだ理由・想い：

候補 2

人と人、人と網野をつなげる、可能性∞の“交差点“

投票：

選んだ理由・想い：

候補 3

ふらっと集い、つながりが生まれる場所

投票：

選んだ理由・想い：

候補 4

“立ち寄り・出会い・未来を描く”
新しい網野の日常が始まる場所

投票：

選んだ理由・想い：

WORKSHOP ②　利用シーンの検討

約40分間

4グループで、機能のたたき台をもとに具体化します

実現したい利用シーンから「何が必要なのか」を考えます。
これまでの議論から想定されるたたき台として、各グループの議論テーマを設定しています。

グループA　「ふらっと来て、自分らしく過ごせるチーム」

屋内のフリースペース・貸室の利用想定

グループB　「人と人が出会い、つながるチーム」

屋外施設・周辺施設等の連携利活用

グループC　「やってみたいを実現するチーム」

集客・商業的機能の実現可能性
（チャレンジショップ・カフェ・イベントなど）

グループD　「網野のまちとつながるチーム」

周辺への波及・連携・回遊の仕掛け
相乗効果のつくり方
（情報発信・人の回遊性向上など）

VIEWPOINT ／ ワークに入る前に【Bグループの視点】

跡地と旧幼稚園を含む周辺一帯をどういう風景にしたいか



＜現状における市の考え方＞

1 旧幼稚園舎は築57年が経過し構造上の制約もあるため、現存の建物を活用するためには施設の長寿命化及び内装改修など大規模な工事が不可欠であり、コスト面でいえば建物解体後に敷地を有効活用することが効果的と考える。

2 跡地の賑わいと相乗効果を生むため、現状のままとはせず、民間活力の導入（市場調査等）も視野に入れた効果的な活用方策を並行して検討していく。

跡地と隣接する旧網野幼稚園についても、周辺とのつながりや一体的な活用を含め、何かアイデアがあればお聞かせください。

① 建物の長寿命化には、多額の費用が官民関わらず必要です。

② R6年度のサウンディング調査の結果から、跡地と隣接する当該地についても、
現状の条件では、民間投資による改修・取り壊しといった『整備費用』をかけることは厳しいことが想定されます。

③ ただ、将来、跡地が賑わいの生まれる空間になった暁には、相乗効果として当該地の市場性は向上することも考えられます。

④ 本協議会で当該地の活用アイデアもいただき、今後の跡地の整備方針等と合わせて活用の検討を進めていきたいと考えています。

WORKSHEET ②

グループA

①屋内フリースペース

□ このまま実現したい
□ この内容を変えて実現したい
□ 今回は見送る

① どんな利用シーンを実現したいですか？

- 子育て交流スペースは必要？　学生の勉強スペース？

② 利用シーンを実現するために何が必要？

空間面：広さ（規模感）
設備面：備品・電源・Wi-Fi・水道・その他配慮事項など

③使いやすく、続けていくために必要な工夫・仕組み

仕組み：利用時間どれくらい？

WORKSHEET ②

グループA

②貸室

- □ このまま実現したい
- □ この内容を変えて実現したい
- □ 今回は見送る

① どんな利用シーンを実現したいですか？

② 利用シーンを実現するために何が必要？

空間面：部屋を大きくも小さくも利用できる間仕切り壁・防音仕様・広さや部屋数（規模感）
設備面：備品・電源・水道・鍵・収納・その他配慮事項など

③使いやすく、続けていくために必要な工夫・仕組み

仕組み：予約必要？・利用時間どれくらい？・有料無料？・鍵の貸し借りどうする？

WORKSHEET ②

グループA

③「　　」

① どんな利用シーンを実現したいですか？

ふらっときて自分らしく過ごすために、他に必要と考える屋内の諸室機能

② 利用シーンを実現するために何が必要？

空間面：
設備面：

③使いやすく、続けていくために必要な工夫・仕組み

WORKSHEET ②

グループB

①屋外スペース等

- □ このまま実現したい
- □ この内容を変えて実現したい
- □ 今回は見送る

①　どんな利用シーンを実現したいですか？

どんなイベントが想定されるか
どんな環境（夜間・雨天時・積雪時など）での利用が想定されるか
それを開催するうえでの配慮や懸念はどんなものがあるか
例）音楽イベント？屋外飲食（煙を伴うもの？）など

②　利用シーンを実現するために何が必要？

空間面：地面（外構）（芝生・土・舗装）・導線

設備面：

③使いやすく、続けていくために必要な工夫・仕組み

仕組み：予約必要？・利用時間どれくらい？・有料無料？
空間や運営上の工夫・配慮事項（上記利用シーンを実現するための配慮事項など）

④誰がどう育てていく？　《運営者》誰が関わるとこの機能を続けていけそう？（行政・民間事業者・複数企業からなる組織体・地域団体新コミュなど）

WORKSHEET ②

グループB

②周辺施設等の連携利活用

①　どんな周辺施設との連携シーンが考えられますか？

事務局説明資料　参考データ①　周辺公共施設の概要を参照
跡地でハード整備をすることによる周辺の相乗効果
跡地では整備をしないもののの、周辺施設で代替する効果

②　連携シーンを実現するためにはどんな仕掛けが考えられますか？

検討の視点：周辺にすでにある機能（遊具・広場など）／
歩いて行き来できる動線／連携イベントの可能性

③　旧網野幼稚園の利活用のアイデア？

検討の視点：建物の利活用/更地後の利活用

WORKSHEET ②

グループC

①カフェ等飲食

□ このまま実現できそう
□ 形を変えれば実現できそう
□ 実現は難しそう・見送る

① どんな業態が想定できる？

この場所において実現可能性の高い手法、規模感、運営手法

②運営のために何が必要？

設備面：
空間面（規模感）：
配慮事項：

③ 市場性の確認の仕方は？

方法：サウンディング調査・個別ヒアリング・イベント出店・キッチンカー・コンテナショップ等

④公募条件など

WORKSHEET ②

グループC

②チャレンジショップ

□ このまま実現できそう
□ 形を変えれば実現できそう
□ 実現は難しそう・見送る

①　どんな業態が想定できる？

この場所において実現可能性の高い手法、規模感、運営手法

②運営のために何が必要？

設備面：
空間面（規模感）：
配慮事項：

③　市場性の確認の仕方は？

方法：サウンディング調査・個別ヒアリング・イベント出店・キッチンカー・コンテナショップ等

④公募条件など

WORKSHEET ②

グループC

③ 「　　」

①　どんな業態が想定できる？

チャレンジショップ・カフェ以外に、実現可能性を検討したい商い・機能があれば、
左に機能名を書いて具体化してください。

②運営のために何が必要？

設備面：
空間面（規模感）：
配慮事項：

③　市場性の確認の仕方は？

方法：サウンディング調査・個別ヒアリング・イベント出店・キッチンカー・コンテナショップ等

④公募条件など

WORKSHEET ②

グループD

①周辺への波及・連携・回遊の仕掛け・相乗効果のつくり方

【１　波及させたい対象先：周辺市街地】

①　周辺との連携を考えた時に、どんなしかけが考えられるか？

②　連携シーンを実現するためにどんな仕掛けが必要？

※ なぜそれが必要なのかの視点で検討。
交通面（バス・レンタサイクル等）・**情報発信面**

【２　波及させたい対象先：網野全体】

①　周辺との連携を考えた時に、どんなしかけが考えられるか？

②　連携シーンを実現するためにどんな仕掛けが必要？

※ なぜそれが必要なのかの視点で検討。
交通面（バス・レンタサイクル等）・**情報発信面**

WORKSHOP ③　発表・意見交換

約20分間

各グループの検討結果を、全体で確認



発表

各グループの利用シーンや配慮事項を発表

各グループ
発表　1分
質疑　2分



意見交換

他グループからの意見・気づきを共有し、補足。アドバイザーからも後程コメントをいただきます。

NEXT STEPS ／ 次回以降の予定

残り２回で、設計方針まで仕上げます

先進地視察
10/22

舞鶴市

第４回
11/13

設計方針
（素案）の提示・深掘り

第５回
12/17

設計方針
（素案）の確定

委員のみなさまへ

今日決まったキーコンセプトと、機能ごとに検討いただいた利用シーン・配慮事項が、次回提示する設計方針素案の土台になります。次回もどうぞよろしくお願いいたします。

NEXT STEPS ／ 最後に

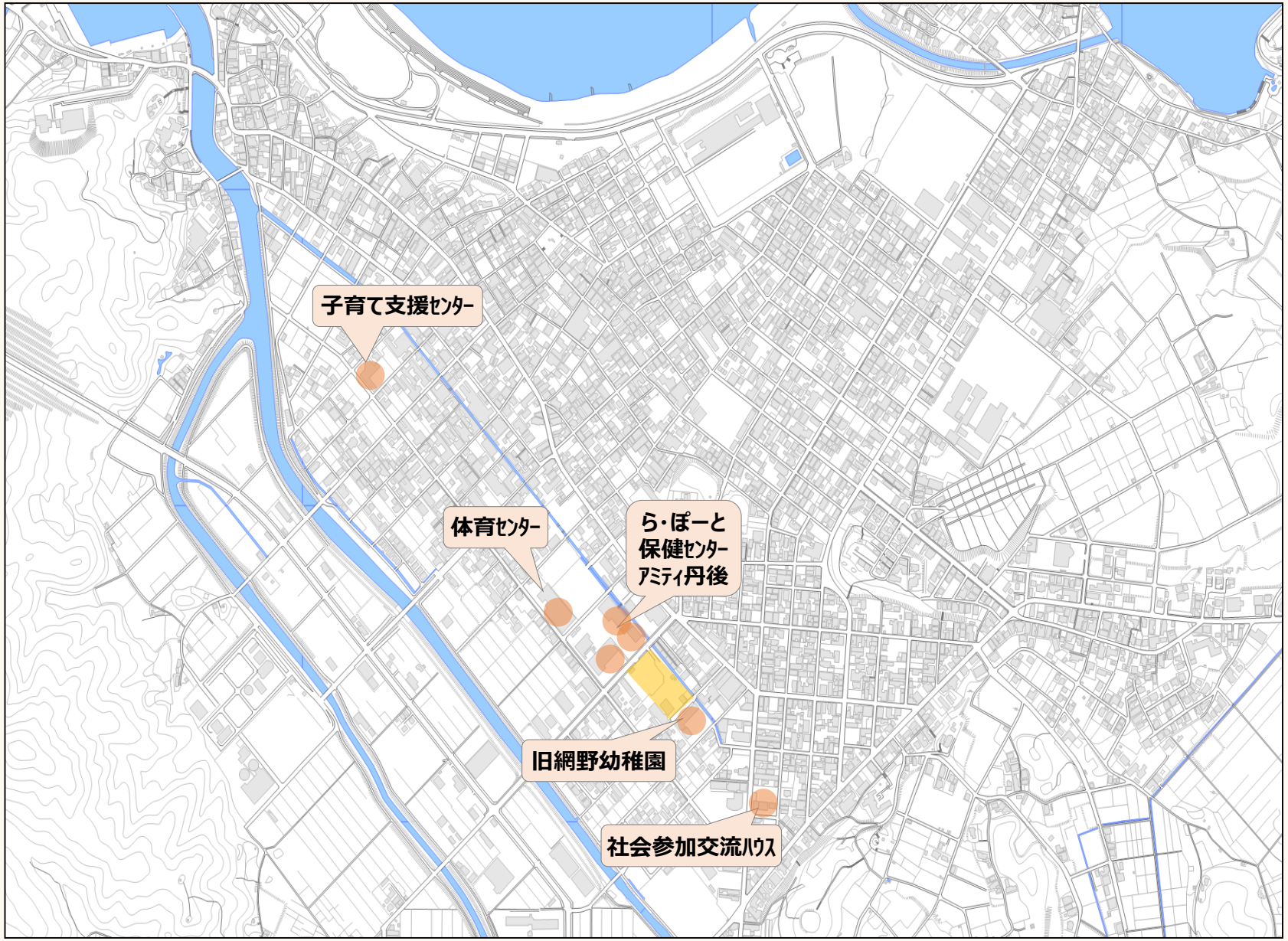
アンケートについて

- 伝えそびれたこと
- 協議会の進行に関すること（次回以降のブラッシュアップのため）
- 跡地整備に参考となりうる他の事例

などございましたら、QRフォームから、１０月１５日までにご意見をお寄せください。

ありがとうございました。

REFERENCE ／ 参考データ①　周辺公共施設の概要



REFERENCE ／ 参考データ①　周辺公共施設の概要

1　ら･ぽーと（網野健康福祉センター）【網野市民局】　＜跡地からの距離：徒歩２分＞

所在地	網野町網野３８５番地の１
収容機能	１階：網野市民局･地域包括支援センターあみの･社会福祉協議会網野支所･デイサービスセンター ２階：あみの図書館
利用可能な諸室	あみの図書館の事業（読み聞かせ等）、市の各課の会議等のみ使用
主な利用途	1階：行政手続き、デイサービス他 2階：図書館利用
利用者数（年）	あみの図書館貸出者数：Ｒ７年度　14,816人（個人：13,036　団体：1,780）
建築年（改築年）	平成１４年





2　網野保健センター（ら･ぽーと横）【健康推進課】　＜跡地からの距離：徒歩２分＞

所在地	網野町網野３６７番地の１
収容機能	保健センター機能（２階建て）
利用可能な諸室	２階集団指導室（14人程度）
主な利用途	市の会議、京丹後市と関係のある各課の主管団体等で、市の行政推進に関係する会議等
建築年（改築年）	昭和５８年





REFERENCE ／ 参考データ①　周辺公共施設の概要

3　網野体育センター（網野地域公民館含む）　【生涯学習課】　＜跡地からの距離：徒歩４分＞





所在地	網野町網野４１８番地
収容機能	体育・運動機能、文化交流機能
利用可能な諸室	体育室、剣道室、柔道室、テニスコート
主な利用途	バスケットボール、バレーボール、剣道、柔道、空手、少林寺拳法、テニスなど
利用者数（年）	（R7年度）体育室:約25,000人　剣道室:約3,800人　柔道室:約8900人　テニスコート:約2500人
建築年（改築年）	昭和６０年

4　網野地域子育て支援センター　【子育て支援課】　＜跡地からの距離：徒歩１１分＞





所在地	網野町浅茂川１４番地（浅茂川区借地）
利用可能な諸室	園庭・屋内遊戯場・昼食スペース
主な利用途	室内外での遊び、親同士の交流、育児情報の交換
利用者数（年）	3,758人（R6年度）
建築年（改築年）	平成５年

REFERENCE ／ 参考データ①　周辺公共施設の概要

5　旧網野幼稚園 【こども未来課】 ＜跡地からの距離：徒歩２分＞



所在地	網野町網野３２０番地
収容機能	なし（倉庫）
利用可能な諸室	―
主な利用途	市の倉庫（平成３０年４月幼稚園用途廃止）
建築年（改築年）	昭和４４年（平成２３年耐震工事）

6　網野社会参加交流ハウス 【長寿福祉課】 ＜跡地からの距離：徒歩７分＞

所在地	網野町網野２０７番地
収容機能	生涯学習機能
利用可能な諸室	掘りごたつの間、畳の間、陶芸室、囲炉裏の間
主な利用途	サークル活動（手話・かるた・俳句）
利用者数（年）	（R７年度）4,673人
建築年（改築年）	平成１６年









REFERENCE ／ 参考データ②　基本計画における整備機能

機能	諸室		諸室概要
コミュニティ機能	ロビー（交流、コワーキング、観光発信）		ロビーは施設入口の機能に加え、誰でも気軽に立ち寄れるオープンなスペース。Wi-Fiを備え、自由利用が可能な交流拠点。壁面などを利用して観光案内のコーナーを配置
	子育て交流スペース		子育て世代が集い、交流・コミュニケーションができる部屋を配置
	レンタルスペース（集会室）		可動間仕切壁により分割が可能で、集会、ダンスや音楽会など多目的な利用ができる部屋を配置
	防音室		音楽を演奏したり、音を出すような活動を個人やグループでできる防音された部屋を配置
	カフェ		地域住民が憩い、集える場所としてカフェスペースを設置
集客機能	①	遊戯広場	木工おもちゃなど木育ができ、子どもが屋内で遊戯・運動ができる空間を配置
		企画展示室	伝統工芸や地域資源に関することをテーマにして、国内外も含めた文化、芸術、木工などの展示を行う空間を配置
		ミュージアムショップ	木工おもちゃ、地域の玩具や伝統工芸品など地域風土に根差した物品の販売を行う場所を配置
		工房	子どもや大人も、DIYや伝統工芸などを楽しめるように工作機械を利用できる部屋を配置
		研修室	事業者が講義や団体受入れなど、多目的に利用する部屋
	②	スタジオ	ダンス、エクササイズなど運動もでき、運動を通じた交流や繋がりを図る部屋として配置
		ボルダリングルーム	子どもから大人まで一緒になって楽しめ、体幹の向上や登りきる達成感が経験できる場所を配置
		屋外広場 (フィットネス空間)	屋外において、木陰の空間を構成することで、屋内では体験できない開放感のある運動を行える場を配置
屋外附帯機能	デッキ（みんなの縁側）		広場に面して、縁側のようなデッキを配置し、普段はみんなの憩いの場となり、イベント時はステージなど多様な利用ができるように配置
	駐車場・駐輪場		駐車場は、バス路線の停留所としても機能するように配置することで、交通結節点の機能を担う。また、駐車場、駐輪場は、隣接する公共施設との一体的な利用を想定して配置

REFERENCE ／ 参考データ③第２回協議会資料より抜粋　本プロジェクトで対応できそうな課題

◎本事業で単独対応可　△他と連携が必要

課題の分類	対応策　（ハード／ソフト）	対応できそうなこと　（ハード／ソフト）
①人口減少・少子高齢化 地域の社会活動衰退 ／ 人口減少 ／ 少子高齢化（子どもが都会に行く、婚活が難しい）	ハード —	ハード ◎：居住スペース住宅 △：託老所＋託児所
	ソフト 子供手当増 ／ 定住・移住促進 ／ 子育て支援 ／ 有名人に住んでもらう	ソフト ◎：親も楽しめる/若い世代交流＋多世代/子育て世代への魅力発信
②産業の衰退 機屋の元気が弱くなっている ／ 後継者育成 ／ 工業団地がない インバウンド不足 ／ 地場産業の衰退 ／ 若者が定着しない	ハード —	ハード ◎：コワーキングスペース/チャレンジショップ / アンテナショップ
	ソフト 仕事の創出 ／ 企業誘致 ／ 儲かる一次産業 ／ Uターン支援	ソフト ◎：高齢者が魅力を発信 △：教育意識・強化
③賑わいの不足 冬のイベントがない ／ 大きなイベントがなくなった 土日町中に人がいない ／ 町中の賑わいがない ／ 商店街の賑わい不足 ／ 飲食店が少ない ／ 活気がない	ハード —	ハード ◎：人が集まって飲食できる場 /若者が集まる場 老人が立ち寄る場
	ソフト —	ソフト ◎：レンタル自転車 △：観光業への仕掛け / 地味だが世界大会のスポーツ誘致
④空き家問題 空き家対策	ハード —	ハード —
	ソフト —	ソフト ◎：空き家等に移住者を呼び込む
⑤地域特性 地域の役が多すぎる ／ 細い道での路駐 ／ 道が悪い 磯から浜詰・塩江線の整備／ 駐車場問題 ／ 駅が遠い ／温泉	ハード —	ハード ◎：駐車場確保
	ソフト 国府への要望	ソフト —

REFERENCE ／ 参考データ③第２回協議会資料より抜粋　本プロジェクトで対応できそうな課題

◎単独対応可　△連携が必要

課題の分類	対応策　（ハード／ソフト）	対応できそうなこと　（ハード／ソフト）
⑥環境・災害対策 雨の日は遊ぶ場所がない ／ 雪がよく積もる ／ 高潮で浸水する場所がある ／ 異常気象 ／	ハード —	ハード ◎：全天候型屋内施設
	ソフト 災害に強い町のPR・対策	ソフト —
⑦活動の場・施設の不足 テニスコート等が水につかる ／ 学生が行ける場所が少ない 図書館の利用時間が短い ／ 異年齢活動が少ない /学びの場がない ／ 個人の魅力を発揮できる場がない ／スポーツ体育館 ／ 運動不足（車移動） ／ ラーメン屋が減った ／ 海辺のカフェが欲しい	ハード 水に浸からない仕組み ／ Wi-Fiスペース ／ DIYものづくりスペース	ハード ◎：コミュニティスペース /飲み物（自販機・カフェ） チャレンジ店舗 /坂長・まるふくカフェ/網野まるごと案内所 △：アリーナ付体育館
	ソフト —	ソフト —
⑧公共交通 公共交通が少ない ／ 買物難民	ハード —	ハード —
	ソフト MOBIの範囲拡大 ／ ライドシェア増加 ／ 自動運転の早期活用	ソフト △：網野駅との連携
⑨意識（危機感・一体感の欠如） エコサスティナブルな観点 ／ 活動やイベントに一体感がない できない理由ばかり言う ／ 危機感がないのでは	ハード —	ハード —
	ソフト 協力する空気	ソフト △：リーダーの人材育成

大別③＝具体的な機能・手法に関する意見のみ・全22件

①居心地・気軽・無目的（6件）

- 自習室　／　Wi-Fiが自由に使える場所
- 青空トレーニング　／　体幹トレーニングができる施設
- 子育て支援所
- 集まっておしゃべりしたい人

②挑戦・活動・ビジネス（8件）

- 企画とのコラボ
- バイトできる場所
- 地味だが世界大会のあるスポーツをする施設
- 屋内スポーツによる集客
- コスプレ等の色々なイベントをつくる
- 自分の能力を試したい人のためのショップ・カフェ
- 商品開発→ネット販売、企業誘致
- 網野食堂（食を中心に）

③網野活性化・課題解決（8件）

- 廃材が活用できる
- 絶対に溺れない海・川
- 健康・医療・長寿
- 伝統、文化祭
- 有料のレンタル自転車・キックボード置場
- まるごと案内所
- 海鮮
- スケボー、バスケ